

# 学生視点に立ったシステム活用と業務の見直し

## ～情報発信からのキャッチボール～

A-2 班

グループ名：浜名湖の朝～ここから始まる大学の夜明け～

### I. 課題認識

#### テーマ設定

チームの各メンバーが業務の情報化への課題と感ずることをカードに書いて出し合い、26 個の意見を「教員と職員、部署間の連携が出来ていない」「新システム移行への理解、改革に対する理解」「スクラップ&ビルドの考え方の欠如」など7グループに分類した。

その中で浮かび上がってきたのが「システム利用率の格差」という問題である。そして、普段は“教職員からの視点”で考えがちなこの問題を、今回は“学生からの視点”で考えてみてはどうかとの意見が出された。

そのため私達は、「**学生視点に立ったシステム活用と業務の見直し**」をテーマに設定した。

### II. 討議内容

#### 問題点

本テーマ達成の為に解決すべき課題は、学生のシステム利用率の向上である。

学生のシステム利用率が低いことの原因を討議した結果、問題点を以下の 4 つのグループに分類することができた。

#### ① 情報の質

- ・ 学生から見て使っている先生と使っていない先生がいる
- ・ (紙面と比べて) Web ページに対して安心感が無いこと

#### ② 発信方法

- ・ 情報の分散 (部署間縦割り、業務のスクラップ&ビルドが出来ていない)
- ・ 掲示板と web 配信の共用ルールを設定できてない

#### ③ 学生のスキル (環境)

- ・ 情報の使い方がわからないこと
- ・ メリットがわからないこと
- ・ PC 操作に慣れていない・苦手
- ・ パソコンを持っていない

#### ④ 手間がかかる

- ・ PC 起動からログイン完了まで時間と手間がかかること
- ・ ID やパスワードの入力を何度も求められること

## 解決策

上記4つの問題点の解決が、システム利用率の向上、ひいては学生視点に立ったシステム活用に結びつくと考え、解決策を討議した結果、それぞれ下記の通り意見が挙げられた。

- ① **情報の質**については
  - ・ 学生個人宛に選別した情報の提供
  - ・ 部署間での情報発信のバランス（重要度のレベル分け）
- ② **発信方法**については
  - ・ 部署間を越えたポータルサイト・携帯電話向けサイト、メールでの通知
- ③ **学生のスキル（環境）**については
  - ・ ガイダンス等、初年時教育・必修科目での学習の機会の提供
  - ・ 無線 LAN 等の環境の整備
  - ・ 学生からの問合せに対応できる職員の配置
- ④ **手間がかかる**については
  - ・ シングルサインオンシステムの整備
  - ・ 学内 PC のホームページとしてポータルサイトを設定する

## Ⅲ. 提案内容

### まとめ

前述の課題を解決し、学生視点に立ったシステム活用を実現するために、中長期的には以下のような目標を定める。

- ・ 業務システムの見直し
- ・ 初年時必修科目「情報・システムの活用講座」の導入
- ・ 教職員向け導入説明会の実施
- ・ 学生の利用メリットの拡充とアピール（出席状況の確認など）
- ・ 学生がシステムに触れることのできる機会の充実
- ・ 利用者から意見を集めることのできる、目安箱のような仕組み作り

これらの中長期計画は全て、学生視点に立ったシステム活用と業務の見直しに有効な試みであるが、早期の実現が難しいものばかりである。

そのため、私達は明日からすぐの実現できることとして、下記の6点を挙げた。

- 一、難しい言葉は使わないこと！相手の立場にたった会話をする！
- 一、普段の会話の中にシステムの話題を盛り込む！
- 一、システムの入り口への誘導を工夫する！
- 一、他部署の基礎情報をつかむ！間違っ誘導を行わない！
- 一、学生視点に立って業務を見つめなおす！結果、教職員の活用意欲を促す！
- 一、PDCA サイクルのチェックを定期的に行う意識を持つ！

これらはすぐに実現できる代わりに些細なことである。

しかし、意識・行動の小さな改革を積み重ねることによって、中長期計画の実現や、本テーマの達成に近づいてゆくことができると考える。

以上